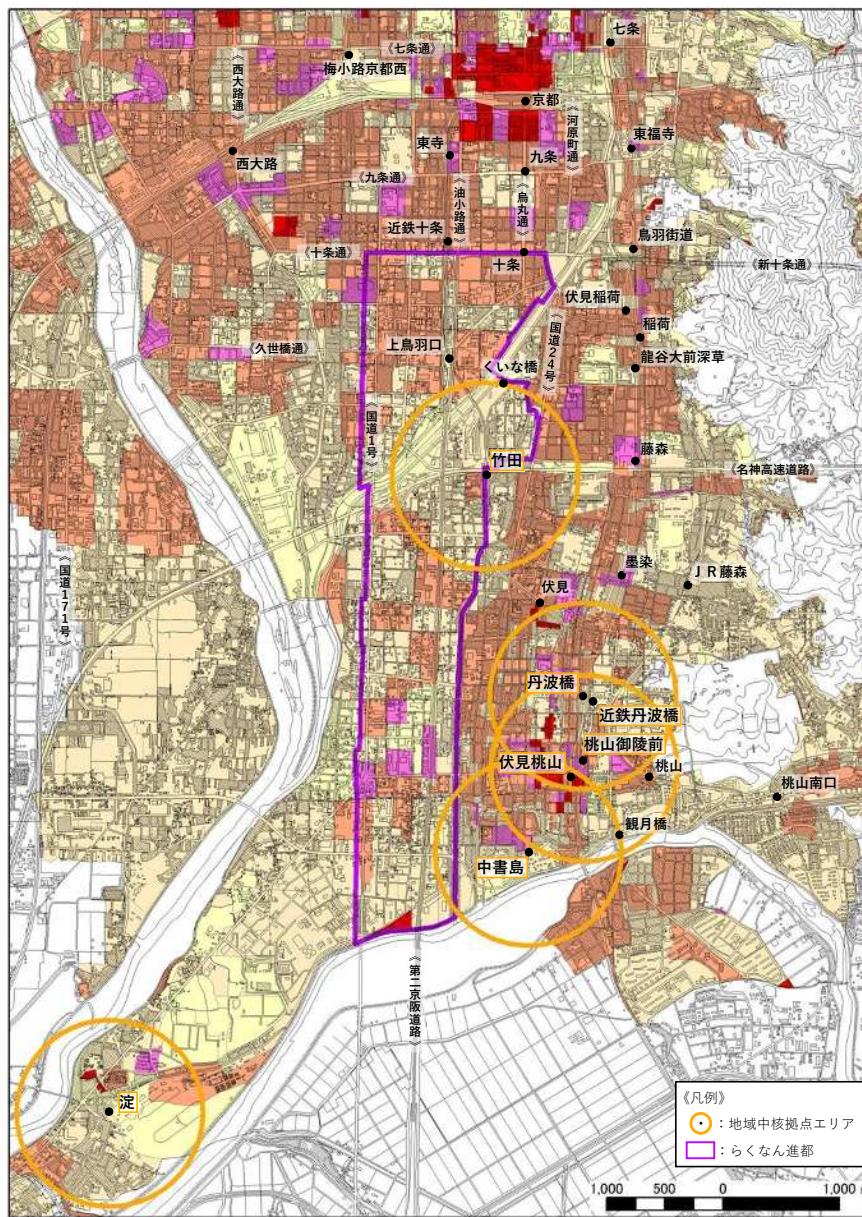


南部地域における土地利用の状況

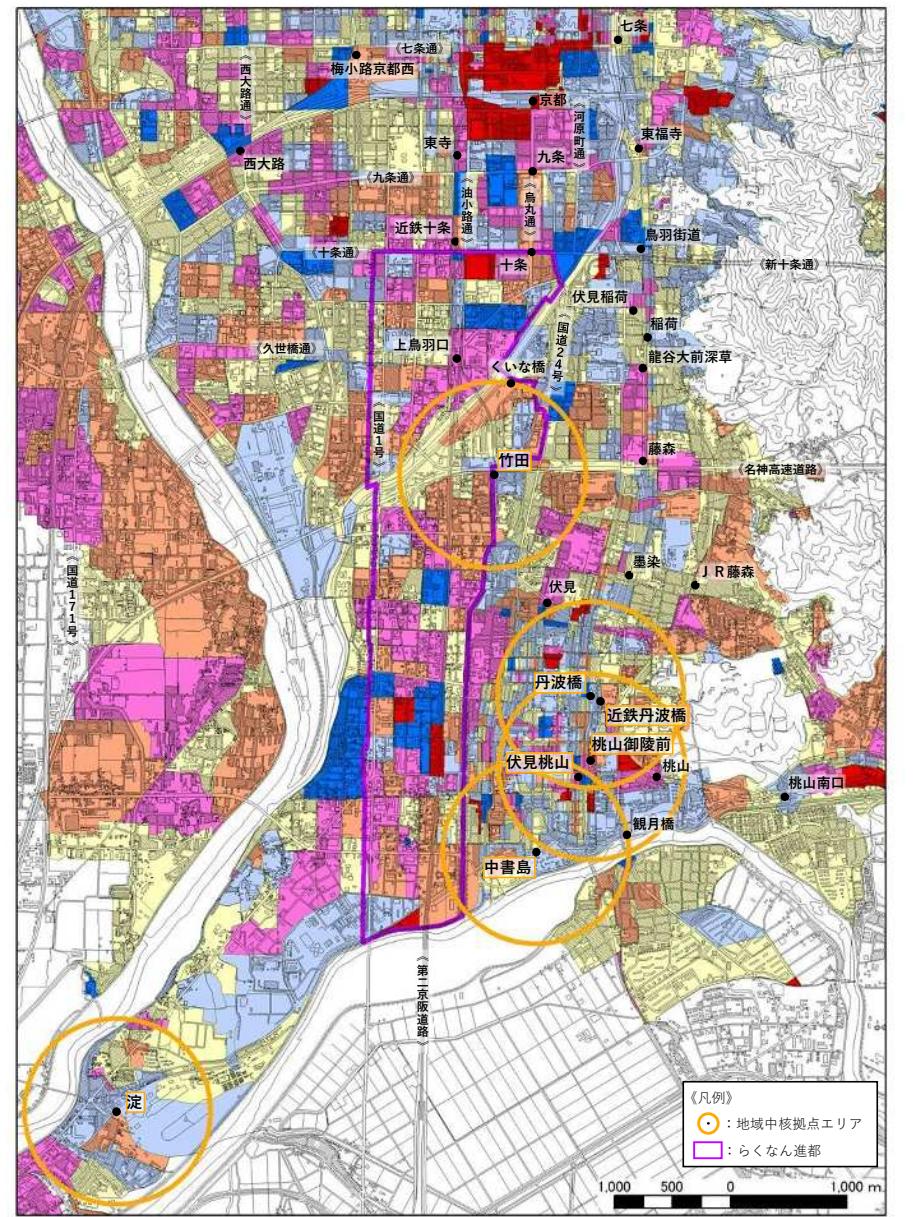
資料 6

- 京都駅など一部の駅周辺のエリアを除き、都市機能の集積の傾向は特段見られず、床面積が減少しているエリアも多い。
- 特に竹田駅周辺においては、駅至近でありながら土地利用が低調なエリアが目立つ。

■全建物用途の床面積 (2021(R3))



■全建物用途の床面積の増減 (2001(H13)～2021(R3))



※固定資産課税台帳情報を基に本市作成

※町単位における1ha当たりの床面積を凡例に沿って表示